

音更町総合計画推進委員会会議結果（要旨）

会議名	音更町総合計画推進委員会（平成26年 第3回）
開催日時	平成26年12月4日（木） 午後7時から午後9時
開催場所	音更町役場 庁舎2階 第1・2委員会室
委員出席者	津久井委員、林委員、畠委員、山本委員、河田委員、小林委員、山西委員、加藤委員、中島委員
事務局出席者	高木企画財政部長、渡辺企画課長、定村企画調整係長、高田企画調整係主任、阪本企画調整係主任、松原企画調整係主事
議題・諮問内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委員長あいさつ 3 議件 <ol style="list-style-type: none"> (1) 重点施策推進管理評価調書の検証について 4 その他 <ol style="list-style-type: none"> (1) 次回のスケジュールについて
会議資料	※第1回目で配付した資料を使用 （資料1）音更町総合計画推進委員会について、 （資料2）第5期総合計画推進管理評価調書について （資料3）目標指標実績一覧表 （資料4）平成26年度 音更町まちづくり町民アンケート結果報告書 （資料5）各事務事業内容の説明一覧 （冊子）第5期音更町総合計画
出された主な意見等	<p style="text-align: center;">（重点施策推進管理評価調書の検証について）</p> <p>○重点施策4に対する意見</p> <p>委員：非構造部材とは何ですか。</p> <p>事務局：上から吊っているものや、照明などで、対象になるのは体育館です。 天井の高い場所にあるライトなどが対象になっておりまして、こういうものも耐震性のあるものにしてくださいという文科省から通知があります。</p> <p>委員：体育館の天井がはがれてケガをするなどの報道はよく聞きます。急ぐものと思うので、なるべく素早いご対応をお願いします。</p> <p>委員：オについて、全体的に事業数が減っているようですが、（O O J Cオープンカレッジ、高校開放講座など）木野地区にも学習機会の場所があれば良いと感じます。木野地区の方が人口が多ので、今後のためには木野地区にも必要と思いました。</p> <p>委員：スポーツ施設の計画が少し遅れているとのことですが、木野地区には児童も住民も多いです。小規模でも良いので木野地区にもスポーツ施設があればと思います。</p> <p>事務局：総合計画の前期と後期に分けて進めており、前半は予定より進まず担当の方で計画どおりに進まなかったと記載してます。木野地区の軽スポーツセンターや第二体育館などは過去に議論がありましたが、現在の財政状況では難しいと思います。例えば、帯広市の総合体育館を利用するなど広域な施設利用も考えていかなければならないと感じています。</p> <p>委員：4ページで学力向上対策の印刷物配布となっていますが、配る事実よりどのように活かしたかの方が大切だと思います。あと、事務事業の方の2番の指導要領に基づく活動を行った学校数19とあるが、指導要領に基づかない学校はないと思います。</p>

委員：学力について、北海道は報道等を見て低いと感じましたが、指導要領に基づいて行っていますが、その中で学力が下がっている現状を町としてはどこに問題があるとお考えですか。

事務局：学力テストは、本町の学校は対象学年全て参加しており、結果は全て学校にフィードバックしています。町としての小・中学校の取組の検討については、改善センター（生涯学習施設）に教育研究所があり、校長先生や一般の教員で構成する組織です。そこにも学力テストの結果等を投げかけて、教科ごとに、読解力や計算力などかなり細かい項目で検討してもらい、それを再度教育委員会で取りまとめ、各学校に通知し、本町の弱いところ強いところ、工夫しなければならないところとしてフィードバックしています。

○重点施策5に対する意見

委員：「ママの講座」ですが、ママだけでなく、パパも子育てしていると思います。ちょっとのことですが、とても気になりました。

委員：13ページの評価が1（ワークライフバランス啓発）というのは、男女共同参画計画の策定がまだということですか。

事務局：今年度策定中で、その計画から手法を検討するということです。

委員：ひとり親で子育てしている方がいまして、酪農ヘルパーなので、朝5時半から夜8時まで仕事で、子どもを預ける所がなく何か良い方法はないかとご相談を受けました。どういう支援体制が取れるのですか。

事務局：保育園や学童では難しいと思います。家庭内保育とか、保育ママというような制度の活用など。また、地域や親族の協力も必要と思います。全てを公的支援でカバーすることは難しいので、色々な制度を活用しながら親族などの協力を得て、複合的に支援する必要があると思います。

委員：今年から学童の一部が民間委託するとのことですが、このように評価をしながら、民間委託することになった経緯についてどう考えていますか。また、各学童で運営する民間が違う中、サービスが変わらないようにしなければならない。民間に公的資金を投入することで、運営や人員配置に対しても目配せが必要だと思います。

委員：学童で、整備を進め各計画を立てられていますが、新制度の中では6年生まで学童を広めると思います。町は、建て替えや民営化をしていくことが課題になると思いますが、今後新たに課題が出た場合に計画に加えることは可能ですか。

事務局：6年生まで学童を広げる話は最近出てきました。学校と連携した総合プランを5年位で作成することとなっています。今の前期の計画では6年生までというのはありませんでしたが、新たに6年生までと示されたので、今、町もそれに向けて準備を進めています。後期の計画では6年生までということも出てくると考えています。

○重点施策6に対する意見

委員：コミバスについて、現在共栄コミセンから分かれて走っていますが、評価の中でも停留所の場所を検討すると書かれています。桜が丘の団地、北陽台はかなり高齢者がおり、買い物に行きたくても足がない。現状コミバスの停留所がAコープの横ではなく、農協の方にあります。コミバス路線について、週2回など、買い物用、プール用、病院用、十勝川温泉用など試験的にでも目的別に運行するのはどうですか。また、認知症サポーターについて、どう地域のネットワークに組み込んでいくかということが重要と感じました。

○重点施策7に対する意見

委員：広報は町内会に入っていない人にはどうしているのですか。

事務局：町内会で、直接配っていただいたり、コンビニや公共施設に設置してなるべく手にできるよう努めております。